

伊那市 官民共創の新しいまちづくり協議会

会議名	第 31 回 まちなかエリア高度化 WG			
開催日	2026 年 6 月 19 日(金)			
開催時間	開会	18:00	閉会	19:10
開催場所	市役所 5 階 502 会議室			
出席者				
協議会・WG メンバー	会場：黒河内貴氏、鈴木孝之氏、政金裕太氏、土田智氏 O L：瀧内貫氏			
事務局・職員	会場：企画部企画政策課 井口大輔課長、有賀慎課長補佐 村田和也新産業技術推進係長 地域創造課まちづくり推進係 林岬汰主事			
関係者				
欠席者	志知貴文氏、細谷啓太氏、			
議事	1、6/28(日)の「対話・つながり・実現の場」の進め方について			

議事項目	概要	次のステップ
1、6/28(日)の「対話・つながり・実現の場」の進め方について		
グループワークの進め方について	○事務局 ー 前回 WG で協議したグループワークの進め方について説明ー ○WG メンバー ・興味関心が近い参加者同士でグループを作った方がより具体的なアイデアにつながる。グループワークの中で隣のグループで対話している取組をフォローしたいという参加者も出てくるかもしれない。具体的なアクションを求めていくなれば、最初のグループ分けはランダムでよいが、どこかでグループをシャッフルした方がよいかもしれない。 ○WG メンバー ・「ちょっと気になる」青の付箋は、「やりたい」ピンクの付箋への便乗を意味する。グループワークの途中で、他のグループの地図を見て青の付箋を貼り、気になったグループに移動して興味関心が近い人同士のグループになればよい。 ○WG メンバー ・グループワークの途中で、中間発表ではなく全員で他のグループの地図を見てみましょうという時間があると、「途中でグループが変わると今までいたグ	

ワークシートについて グループワークの構成	ループの対話がつまらなかったと思われるのでは…」といった余計な気遣いなく移動しやすくなる。 ○WG メンバー ・全員で他のグループの地図を見て回るときに他のグループの地図にも青の付箋を貼っていけばよい。 ○WG メンバー ・時間的にすべてのグループの地図を見られないかもしれないので、全体のファシリテーターがそれぞれの地図にコメントして回ると内容を把握しやすくなる。 ○WG メンバー ・グループワークの後半では、少なくとも4つか3つの具体的なテーマで密度の高い議論をすることが狙いである。 ・地図を見て回る時間に、複数のグループで重複するピンクの付箋、1つもピンクの付箋がないグループなどを整理して、グループワーク後半の各グループの地図に少なくとも1つずつピンクの付箋があるように整理する必要がある。 ○WG メンバー ・同じやりたい内容でも、伊那北駅前で行いたい人と、西町で行いたい人がいるかもしれない。 ○WG メンバー ・貼られたピンクの付箋の量に応じて、多ければ場所に関係なく1つの「やりたい」グループでよいし、少なければ、場所ごとの「やりたい」でグループを分けてもよいと思う。 ○WG メンバー ・全員で他のグループの地図を見て青の付箋を貼るタイミングで、OST ファシリテーションのように、話したいテーマがある人にテーマを紙に書いて発表してもらい、参加者がそれぞれのテーマを選んで後半のグループを作るのはどうか。その部分だけ自分がファシリテーションするようにする。 ○WG メンバー ・ワークシートの項目に数字が振ってあるが数字はない方がよい。 ・ワークシートの一番最初に「タイトル」があるが、「タイトル」を最初に考えると時間を取られてしまう。「タイトル」が一番最後でよい。 <決まったグループワークの構成> ・グループ分けは受付でランダムに行う。 1. 全体にグループワークの進め方を説明（3分）	
-------------------------------------	--	--

	担当：WG メンバー ・進め方について、「前半 4 つの地図を使ったワークから 4 つテーマを絞る、グループの入れ替えもしながら後半は具体的なテーマでワークシートを作りたい」ということをざっくり伝える。 ・前半は工数が多いので、その都度グループに声掛けしながら進めていく。 ・講師のお二人にはどこかのグループの対話に入っていただくようにする。 2. ファシリテーター ・4 グループに対し、WG メンバーがそれぞれグループファシリテーターに入る。 ・WG メンバー一人はフリーとし、グループワークの進め方で全体で説明しきれないところを各グループに声がけしてもらう。 3. 前半 (1) 地図の色塗り（7 分） ・色塗りはプロッキー（マジック）を使う。 ・土地の区画を囲むように色塗りをする。塗りつぶしたり、斜線を引いたりしない。 ・駐車場、空き地など面 … ピンク ・路地、道路など線 … 緑 (2) 付箋貼り（10 分） ・使用する付箋は 75mm×75mm サイズ ・やりたい!（主体的） … ピンク ・あったらいいな!（主体的でない） … 黄色 ・ちょっと気になる … 青 4. 全員で他のグループの地図を見て回る（15 分） 担当：WG メンバー ・各グループで作成した地図を床に置く。 ・全員で地図を見て回りながら、気になるところ、フォローしたいことについて、青い付箋にアイデアが広がるコメントを書いて地図に貼っていく。 5. 後半のグループ分け（5 分） 担当：WG メンバー ・付箋で集まった情報や、特定の参加者が是非話したいことなどを加味して 4 つのテーマを作る。 ・後半の 4 つのグループ分けを行う。 6. 後半（20 分） ・参加者一人ひとりに A4 のワークシート、各テーブルに拡大印刷したワークシートを用意する。 ・各グループで対話するテーマについて具体的なアクションにつながるようにワークシートを作成する。	
--	--	--

全体の構成について	・発表用に大きなワークシートも作成する。 7. 発表・講評（15 分） ・各グループの発表、講師お二人からのコメントをいただく。 ○事務局 ー 前回 WG で協議した全体の進め方について説明ー ○WG メンバー ・今回対話した具体的なアイデアは、10 月 31 日(土)の 17 とりどり祭で実際にできるかもしれませんという話は、一番最初にした方がよい。参加者の対話のリアリティも上がる。冒頭の趣旨説明の際に、WG メンバーから話していただくのがよい。 ○事務局 ・今回、日本福祉大学の学生も参加してくれる。最後に大学から ・7、8 月のワークショップの案内 ・大学が用意した地図に、参加者がよく行く場所をピンで落としてもらう。 - の 2 点をお願いしたいとの希望がある。 ・日本福祉大学の学生はストリートファイニチャーを製作する目的もあり、17 とりどり祭では実際にストリートファニチャーを置いてみたいと考えている。	
------------------	---	--

■今後のスケジュール

<次回「対話・つながり・実現の場」>

- ・日時 6 月 28 日(日)14:00～16:45
- ・会場 伊那市産業と若者が息づく拠点施設 allla（アルラ） 多目的室

<日本福祉大学ワークショップ>

- ・日時 7 月 31 日(金)、8 月 29 日(土) いずれも 13:00～16:00
- ・会場 いずれも伊那市創造館